

教育目標・教育方針

教育目標

- 1 確かな学力と幅広い知識・教養を身につけた人間を育成する。
- 2 人柄に優れ、知・徳・体の調和のとれた人間を育成する。
- 3 自主・自律の精神を持ち、社会に貢献できる人間を育成する。

教育方針

- 1 基礎学力の定着と学習意欲の向上を図る。
- 2 礼儀と規律ある教育環境を保つ。
- 3 自己管理能力の育成に努め、安全指導を徹底する。
- 4 部活動の一層の充実・発展を図る。
- 5 個に応じた組織的な教育相談活動を推進する。
- 6 キャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育てる。
- 7 個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを積極的に活用する。
- 8 教育活動全体を通して、自己有用感・自己肯定感を育む指導を心がける。

令和6年度重点目標

●学習指導

- 1 主体的・対話的で深い学びの実践に向けた授業の工夫改善を通して、基礎・基本の定着、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- 2 学校教育活動の様々な場面を活用し、生徒が自ら学ぶ力や探究する姿勢を育み、主体的・対話的で深い学びにつなげる。
- 3 図書館の機能を十分に活用し、あらゆる学習の深化に資するとともに、読書に親しむ態度を養成する。
- 4 ICTを積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを実現するとともに、災害や他の理由により登校が難しい状況においても学習が継続できるようにする。

●進路指導・キャリア教育

- 1 自己の在り方・生き方を考えさせ、望ましい職業観や勤労観を育成する。
- 2 総合的な探究の時間（ポラリス）に意欲的に取り組み、社会の仕組みや自己の適性を知り、主体的に進路選択ができるようにする。

●生徒指導

- 1 基本的生活習慣の確立を図る。
- 2 自転車運転マナーの向上と交通事故の防止に努める。
- 3 組織的な教育相談体制により、きめ細やかで早期の対応を行う。

●安全・安心の確保

- 1 「生命の大切さ」を繰り返し指導するとともに、事件・事故の未然防止に努める。
- 2 環境整備・安全点検を心がけ、心身ともに快適な「居場所」づくりに努める。
- 3 「自分の健康は自分で守る」ことができる自己管理能力の育成を図る。
- 4 食物アレルギー等の情報を共有し、重篤な症状の未然防止に努める。

●特別活動・部活動の充実

- 1 自主・自律の精神を養うとともに、公共心・公正さ・思いやりの心を育てる。
- 2 集団活動を通して、より良い人間関係を築こうとする態度を育成する。
- 3 心身を鍛えるとともに、学年や学校を越えた交流を通し、豊かな人間性や社会性を育成する。

● 地域に愛される学校づくり

- 1 生徒の活動や活躍を情報発信し、外部評価を取り入れた柔軟な学校運営を行う。
- 2 PTA活動・同窓会・学校評議員会等を通して、家庭や地域社会と連携を図り、地域を理解するとともに地域に貢献する活動を展開する。

● 人権教育の推進

- 1 自他を大切にし、基本的人権を尊重する精神・態度を育成する。
- 2 「ことばの大切さ」を指導するとともに、「いじめ」や安易な情報通信機器の使用から生じる人権侵害の未然防止に努める。